



清瀬の杜

令和5年4月号
令和5年4月28日
校長 佐藤 明子

<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosetyuugakkou/index.html>



「目標」の達成に向けて

校長 佐藤 明子

うららかな春の日射しを受けて校庭の新緑が鮮やかさを増し、つつじの花がさわやかな風に揺られ、ほのかな薫りを醸し出しています。朝の校門には、真新しい標準服に身を包んだ1年生、その様子を温かく見守る2・3年生のはつらつとした登校する姿が、まぶしく輝いています。令和5年度が始まり、はや1カ月が経とうとしていますが、多少、緊張気味だった1年生も、授業、朝礼、生徒会活動、避難訓練など、初めての体験を戸惑いながら、一生懸命取り組んでいます。当番活動、授業の規律などは、一つ一つを丁寧に、ルールをもとに生徒全員が協力して実行していくことを、繰り返し確認しながら進めていくことで、自律的な活動につながっていきます。

4月いっぱいを使って、新しい部活動の体験入部も行っています。2・3年生が1年生に向き合い、時にマンツーマンで、または見本を示しながら、一つ一つわかりやすい言葉で伝える等、優しくも頼もしい様子がたくさん見受けられ、本校の子供たちの主体性の伸長の兆しを感じます。

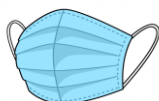
授業に目を向けてみると、新学年に期待する生徒たちの表情は明るく、伸び伸びと安心して生活している様子が伝わってきます。教室の壁面には、今年1年間の目標が、学級ごとに工夫を凝らして掲示されています。「勉強と部活の両立を実行する」「仲間と協力して、悔いのない毎日を過ごす」「行きたい高校に合格できるように日々の授業、学校生活を頑張る」…。特に3年生の生徒の目標には、最上級生としての自覚と覚悟が表れています。

世界的に有名なアスリートが、このような言葉を言っていたことを思い出します。「夢は無料。ただし目標にはコストがかかる。」と。「夢」は漠然としたもので、一般的には、実現できなくても後悔することは少ないのかもしれませんが、夢はもしかしたら大きく、とても遠い世界のことであったりして、実現へのコミットは伴わず、相対的に対価は発生しにくいものとも言えます。

一方「目標」には、実現に向けたプレッシャーが伴います。達成に向けてコミットが求められますから、そこにはコストが発生します。例えば目標とする高校進学を果たすためには、日々、今まで以上の自分自身の鍛錬が必要となり、その時間を確保するために余暇の時間を削減しなくてはならないでしょう。そして、時間を作り出すためには、時間を意識した行動が基本になり、規則正しい生活を送っていくことが必須になります。目標を達成するときには、必ず、目標とセットで、具体的なコストを明確にしていくことが大切です。そして時に、我慢をして継続することを意識していかなければ、達成には至りません。ぜひ、清瀬中学校の生徒たちには、自ら立てた「目標」を、「夢」で終わらせないように、頑張ってもらいたいと思っています。

本日は、令和5年度最初の保護者会を開催させていただき、学校経営方針、学年・学級の運営方法、また教科の学習計画や行事の取組等をお示しいたします。学校といたしましては、今年度はウイズコロナからアフターコロナに向け、昨年度以上に「子供たちの可能性を引き出す、最適な学びと、協同的な学びの実現」が重要なものと考えております。「魅力」と「活力」と「信頼」の3つの柱が確立した学校を創ることができるよう、教職員一同で尽力してまいります。保護者の皆様には、昨年同様、温かいご支援と、より一層のご理解とご協力のほどよろしく願いたします。

新型コロナウイルス感染症対策について ~ご理解をお願いいたします~



令和5年3月13日からマスクの着用は、その場の状況に応じた着用になりました。また新型コロナの感染症法上の位置づけについて厚生労働省が5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行することを正式に決定しました。つきましては大型連休明けに発信される市教育委員会の方針を待って、新たにお知らせさせていただきます。本校としては現時点では、以下の方針で対応しています。

- ① 登下校や体育や部活動等、十分な身体的距離が確保できる活動
 - ② 会話をほとんど行わない活動
- * 健康観察と給食の黙食については、継続して行っています。

マスクの着用を求めません